

サイエンスフロンティア 21 ERATO 研究成果映像記録制作 中村活性炭クラスタープロジェクト

Science Frontier 21 ERATO/ERATO Exploratory Research for Advanced Technology Nakamura Functional Carbon Cluster Project

炭素クラスターのためのソナタ Sonata for Carbon Cluster



29min. Completion : January 2010  
Production : MONTAGE inc.  
Client : Japan Science and Technology Agency

時間 : 29分 完成 : 2010年1月

製作 : (株)モンタージュ クライアント : 独科学技術振興機構

プロデューサー : 小松原時夫 ディレクター・脚本 : 西森一夫 プロダクションマネージャー・技術 : 久保田尚志 カメラマン : 住田望 ビデオエンジニア : 落合智成 ライトマン : 秋山貞男 音楽 : 中尾淳 ナレーター : 皆口裕子 CGI : 渡部洋 整音 : 滝沢修

**作品概要** このプロジェクトはフラレンなどの炭素クラスターを有機・無機物質と結合し、革新的な物性、機能を有する新物質創製を目指す研究である。研究総括でありバロック音楽の奏者でもある中村栄一教授は、「音楽もサイエンスも自分が感動したことを人に伝える点で同じである」と言う。そこで音楽を通してこのプロジェクトを見ていくと、「中高生にも研究の面白さや楽しさが伝わるのではないか」という意図から本映像は制作された。

**選考経緯** フラレンやカーボンナノチューブなど炭素クラスターを合成して新物質の創成を目指すプロジェクトの成果報告映像だが、難解な先端科学を中学生以上の一般観客に伝達するために、研究総括の科学者が楽しむ音楽と、音楽と科学とを関連づける独自の考え方を活かして、親しみやすい物語とすることに成功している。専門化する先端科学の情報を社会化し、市民の判断を可能にするために、映像メディアが果たすべき役割を示している。

沈金 前史雄のわざ

CHINKIN The Art of MAE Fumio



©桜映画社

37min. Completion : March 2010  
Production : Sakura Motion Picture  
Client : Agency for Cultural Affairs.

時間 : 37分 完成 : 2010年3月

製作 : (株)桜映画社 クライアント : 文化庁

製作 : 山本孝行 脚本・演出 : 村山正実 撮影 : 山屋恵司 撮影助手 : 森英男 照明 : 佐藤大和 照明助手 : 野本敏郎 録音 : 荒井富保 録音応援 : 西島房宏 効果 : 帆苅幸雄 編集 : 加納宗子 選曲 : 山崎宏 語り : 加賀美幸子 朗読 : 榎木孝明 録音スタジオ : アオイスタジオ タイトル : 菁映社 現像 : IMAGICA

**作品概要** この映画は、重要無形文化財「沈金」の保持者である前史雄が、自らの考案による沈金ノミ(角ノミ)を使って沈金箱「幽玄」を完成させるまでを、克明に記録したものである。微風にそよぐ竹林の奥深く小道が続く静寂で幻想的な世界。作者の深い思いや心象風景が器の形に調和して描き出され、観る者の心を引き込んでいく。

**選考経緯** 文化庁が継続的な事業として進めている工芸技術記録映画の新作で、漆芸の加飾法の一つ沈金の重要無形文化財保持者の技と人間の記録。35ミリカラーフィルムによる製作である。デザインの構想から木地と漆下地、下地製作と図案の複写、彫り、粉入れ、完成と工程を丁寧に追いつつながら、沈金の基礎知識と作家の作品と生き方を織り込んでいく。このシリーズに慣れたスタッフの丁寧な仕事で、35ミリカラーの精細な画面も効果を高めている。

伝統に生きる—あらかわの伝統工芸技術— 鑄造「菓子満」

Live in tradition — Arakawa traditional arts and crafts — KASHI, Mitsuru "Chuzo"



30min. Completion : March 2010  
Production : Bunkakobo  
Client : Arakawa City Board of Education

時間 : 30分 完成 : 2010年3月

製作 : (株)文化工房 クライアント : 荒川区教育委員会

プロデューサー : 桂俊太郎 ディレクター : 間宮則夫 カメラマン : 尾崎邦夫 ライトマン : 野村隆三 音楽 : 藤江隆男 CGI : 植田秀蔵

**作品概要** 鑄金家、菓子満氏—日本古来の伝統技術である真土型鑄造法で、数々の美術工芸品や彫刻などを鑄造している。この作品では、橋本左内の坐像を手掛ける菓子氏を追い、その技術を記録するとともに、真土型鑄造法の作業工程を紹介している。菓子氏は、日本鑄金家協会顧問などを務め、長年にわたる創作、修復の活動により、平成21年、荒川区指定無形文化財保持者に認定された。

**選考経緯** 東京都荒川区が区内に受け継がれる伝統工芸技術とその保持者の映像記録を後世に伝えるために製作しているシリーズの一編。橋本左内の坐像を製作する鑄金家を描き、日本古来の技術である真土型鑄造法を紹介する。技術の普及と地域文化への区民の理解を深めることが目的とされているだけに、文化庁のシリーズと比較すると地域に生きる伝統技術という色彩が強い。無形文化財の映像記録における地域活動の重要性を確認させる作である。